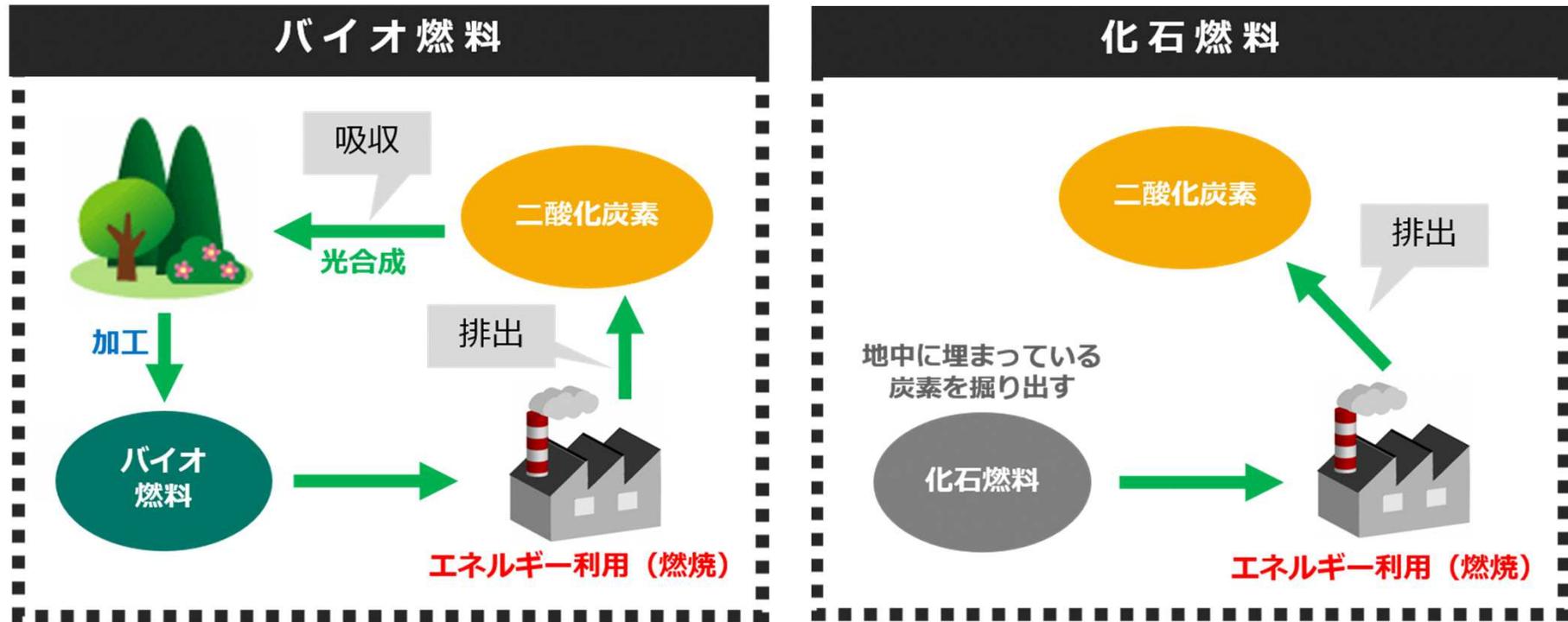


バイオ燃料による地球環境負荷の低減

別紙



バイオ燃料は燃焼すると化石燃料と同じようにCO₂を排出しますが、バイオマス原料が成長過程で光合成によって大気中のCO₂を吸収しているため、燃焼時のCO₂の排出は実質ゼロと考えられています。

<従来型バイオディーゼル燃料と次世代バイオディーゼル燃料の違い>

【従来型】

軽油とは異なる分子構造(脂肪酸メチルエステル)であることから、エンジントラブル等を防ぐため、軽油との混合比率を5%迄とすることが規格化されている。

【次世代】

分子構造が軽油と全く同じ(炭化水素)であるため、「軽油」として取り扱いが可能。そのため、「化石燃料由来の燃料への混合比率の制限を克服可能※」とされている。

※(参照資料) NEDO「TSC Foresight」Vol. 21 次世代バイオ燃料の定義と位置づけ